

# 風と樹の詩

うた

～いまをみつめて～

社会福祉法人砂町友愛園  
砂町友愛園養護部 施設長 河上準一  
〒198-0172 東京都青梅市沢井 1-506  
☎0428-78-8388 fax0428-78-9104  
<http://www.sunamachi-yuaien.or.jp/>  
2020年 春号

## 明けない夜はない

施設長 河上 準一

令和元年という新しい一年が終わろうとした矢先の新型コロナウイルスの感染拡大で、児童養護施設 砂町友愛園養護部の子どもたちにとって楽しみにしていた部屋毎の余暇外出外食行事や、卒園予定児が希望していた卒園記念の小旅行、そのほかグループホームで生活している子たちも集まって行われる全体行事等は、出掛けないように或いは集まらない工夫で内容を変更したり中止したりせざるを得なくなり、子どもたちは勿論のこと行事を担当し計画を練っていた職員にとっても残念な状況となりました。また、この新型コロナウイルスの感染拡大により学校も長期臨時休校で外出も自粛となっているため、この状況に対して子どもたちの有り余るエネルギーではやや閉塞感のような空気も漂ってしまいがちですが、一方で子どもたちの元気な声が今迄以上に園庭から木霊して、職員が密集を気にしている中で元気一杯外遊びをしている姿が多く見られます。子どもにとって遊びは特権。子どもは遊びの中で学校教育から得る知識だけでは補えない、これから先の長い長い人生上での多様な学びを得るものだと思います。その様なことを考えながら、園庭で遊ぶ子どもたちの様子を少し羨ましい気持ちと嬉しい気持ちで眺めています。

さて、新型コロナウイルスの発生という例年に無い年度末からの状況ではありますが、この3月末には2名の中学3年生がそれぞれ希望した高校に無事合格し、3名の高校3年生は進学と就職を悩みながらも結果的に就職自立を選択し、この春それぞれ新しい環境の中でスタートを切ったところです。しかし、やむを得ないことではありますが、この新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、御多分に漏れず入社早々の自宅（寮）待機となった卒園生もいる状況です。新聞やテレビ、インターネット上などでは新型コロナウイルスに関係した暗いニュースばかりが目につく昨今、この先の収束やそれから先の終息の見通しは定かではありませんが、子どもたちから大人までの全世代の人々が、太陽の下で自粛という規制のない学校生活や社会生活などに少しでも早く戻れる日を待ち望むばかりです。

シェイクスピアの悲劇に分類されている戯曲『マクベス』での台詞のように、「明けない夜はない」ということを、更には“止まない雨はない”、“出口のないトンネルはない”と願いつつ。

最後に、令和元年度につきましても当児童養護施設に多くの方々から、多大なるご支援ご協力を頂きましたこと誠にありがとうございました。ご支援ご協力を頂きました各種団体の皆様、個人の皆様に心より感謝と御礼を申し上げます。





杉の子祭



クリスマス祝会



ディズニーシー



## 行事風景



流しそうめん



ひな祭り

臨海



## みらいの森 ～雪板プロジェクト～

月に一度、様々なアクティビティを通して支援して下さっている、NPO 法人みらいの森様の週末プログラムで、2/1～2/2の雪板プログラムに児童5名と職員1名で参加をしました。早朝から子どもたちと一緒に新幹線で新潟県まで出かけ、前日に運良く降ったパウダースノーにも恵まれた最高な2日間でした。子どもたちに向け、まず大人が目一杯楽しむ姿を見せることも目的の一つではありますが、私自身の人生の中で一番雪を満喫した2日間だった気がします。1日目は雪板体験と雪遊びでソリ遊びやかまくら作りをしました。雪板はスノーボードと似ていましたがエッジがないので曲がることや止まることは容易でなく、シューズブランドのチーム KEEN のプロの方々にアドバイスをいただいてもバランスをとることさえ難しいものでした。子どもたちも私も何度も何度も転倒しました。他にも参加していた施設との交流も深まり、宿舎でもたくさんの楽しいレクリエーションを通して友人ができたりチームワークを高めたり出来ました。2日目には雪遊びかスノーシュー体験に分かれて活動をしました。私はスノーシュー体験を選び、初めこそかまじき様なものでグレンデを歩くだけだと甘く思っていたのですが、スノーシューを履いていなければ大人の腰まで埋まってしまうような雪の中で、かなり傾斜角のある所をよじ登っていったり、尾根を踏み分けながら歩いたり、修行のようなキツさがありました。私と一緒に砂町友愛園の男児1名がスノーシュー体験に参加しましたが、最後まで音を上げずに頑張ってゴールすることが出来ました。キツかった中でも自然と色んな人が「がんばろう」と励まし合っていた姿や「We did it!」の掛け声は印象的でした。普段ではできない雪いっぱいでの体験を通して子どもたちの笑顔があふれていましたし、貴重な時間を過ごさせていただいたことに感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。雑談の中で、あるスタッフの方が「一度でも週末プログラムに参加をした子はリピート率がすごく高いんですよ」と仰っていました。理由は参加をすれば必ずわかると思います。 牧野職員

## 行事報告



Merry Christmas

## クリスマス祝会

横田基地の方から  
いただいたケーキ



みらいの森、サマーキャンプにて♪  
鳳仙花ネイルに挑戦！韓国传统文化を体験しました。朱色は魔除けの意味があるとか…。



元号が令和になって最初のクリスマス祝会も、みなさまの支えがあって楽しく開催する事ができました。今年も砂町友愛園には様々なサンタクロースがやってきました。ワールドメイトの方々は子どもたちへのプレゼントと音やリズムを体で楽しむ遊びを、横田基地の方々も同様に、多くのプレゼントと大きなクリスマスケーキを提供してください、子どもたちは大喜びでした。中央大学の管弦楽団のみなさまは、普段間近で見る機会の少ない楽器演奏を披露していただき、子どもたちもそれに合わせて歌を歌うという楽しい時間を過ごす事ができました。子どもたちからの出し物もあり、有志の子による歌やダンス、バンド演奏などは沢山練習をしてみんなの前で発表しました。今回も笑顔がはじけ、素敵な一日になりました。 米沢職員



三田地区運動会では、綱引きやリレーなど子どもも職員も本気全開！



昨年11月10日に沢井市民センターにて三田地区の文化祭が行われ、今回も砂町友愛園の出展ブースを設けていただきました。ここで5回目となり、おかげさまで毎年恒例となりつつあります。年々、出品数も増えて子どもも職員も実に多様な作品を出す事が出来ています。この文化祭を通して地域交流を行ったり、園を知らない方にしていただいたりする良い機会となっていますので、今後も継続していきたいです。また、活気溢れる運動会も老若男女問わず、楽しく参加させていただいています。 福島職員

## 三田地区交流

## 卒園生の言葉

～この春に園を巣立った子ども達から  
メッセージをいただきました～



子どもの作品

私がこ砂町友愛園を卒園するにあたってこの3年半を一言で表すと『感謝』です。これに尽きます。なぜかというと、何もできなかった私を就職して卒園という、一つの大きな目的を果たせるようにまで成長させてもらったからです。私が砂町友愛園に入園したのは中学3年生の夏でした。学校に一人で通うのさえ、ろくにできず、職員に毎日送り迎えをしてもらってました。当時は人付き合いが苦手で、学校のクラスメイトと馴染めず、学校へ行くことが億劫でした。それにちょうどこの時期は進学先についてとても悩んでいました。中学生生活をろくに送れなかった私は高校生活に夢を見ていて、気合だけは人一倍ありました。しかし、中学校にもひとりで行けない私が通える高校なんてあるものか、と諦めていた時に、背中を押してくれたのが職員さんでした。このとき職員さんが背中を押してくれていなかったら、高校にも行けず、今の私はなかったと思います。やっとの思いで入学した学校も、やはり上手くいくことばかりではなく、むしろつらいことの方が多かったです。毎日のように泣きじゃくっていた私を支えてくれたのは他でもない園の職員さんたちでした。入園当時、何もできなかった私が、毎日学校まで通うようになり、友達がつくれなかったですが彼氏もでき、今では就職先まで見つけ、卒園に至ります。ここまで成長したのも砂町友愛園のおかげだと思います。この3年と半年の間に、たくさん迷惑かけました。言うこと聞かなかったり、わがまま言ったりしてたくさん怒られ、逆ギレして職員さんとケンカしたこともありましたが、でもそれ以上に笑顔でいられたと思います。園の子供が、職員さんが笑顔にさせてくれました。感謝してもしきれません。今まで本当にお世話になりました。 卒園生 C



私は、砂町友愛園に来てとても楽しかったです。その中でも楽しかったのは、臨海です。臨海は、一年に一度しかない行事でとても楽しみにしてました。私は、園に来る前は海と言ったらいい思い出はなかったけど園での臨海はとっても楽しくて毎年早く夏にならないか待ち遠しいほどでした。臨海では、海で泳ぐのはあたりまえですがご飯も美味しくて凄くふとりました。お刺身が特に美味しくて魚好きの私には幸せでした。それ以外にも、いつもは同じじゃない部屋の子と話せて嬉しかったです！もちろん他の行事も楽しかったです。また、私は砂町友愛園にこれよ良かったと、本当に思ってます。園の職員さんは、私がとても迷惑かけても突き放さなくて、向き合ってくれました。すごく嬉しかったです。感謝しかないです。卒園しても、絶対忘れたい遊びに来ます。今までありがとうございました！ 卒園生 R

僕は砂町友愛園で6年間を過ごしました。楽しかったこともあり、職員とぶつかって対立することもありました。もちろん生活していく中で不便を感じることもあったけど、いろんな人と関わっていく中で前までできなかったことが少しはできたと感じています。ここに来なかったら得られなかったものがあると思います。コミュニケーションを前より上手に取れるようになりました。ここでの生活を糧に就職先で生かして行けたらなと思います。 卒園生 K

## 祝 卒園おめでとう！～職員より～

昨年度の卒園生は職員が見守る中それぞれしっかりと進路を決定して卒園準備も着々と済ませていきました。あとは職員、児童皆で門出を祝い送り出すだけ…そんな状態で門出会の準備を進めていた時に、世界中で猛威を振るったのが新型コロナウイルスの大流行でした。当初予定していた例年通りの門出会が出来なくなったとき、「自分たちが送り出してきた今までの卒園生のように、みんなと最後のお別れをして巣立ちたかった」と肩を落とした卒園生の様子を見てとても胸が苦しくなりました。さまざまな困難はあったものの議論の結果、施設皆で卒園生を送り出してあげたいという希望が強く、テレビ電話で各ユニットを中継する形で門出会を実施する事となりました。門出会ではモニター越しではありましたが、皆の笑顔が一堂に会し、素晴らしい時間を過ごすことが出来ました。在園児から卒園生へのメッセージ、職員から卒園生へのメッセージ、そして卒園生からお世話になった職員へのメッセージなど、テレビ電話越しにメッセージを送りあって笑顔になったり涙ぐんだり、言葉に詰まったり寂しくなったりと、同じ空間に居なくても思いを伝え合い心まで繋がった門出会となりました。卒園生は砂町友愛園を巣立ち、職員の手を離れて遠い地で新しい生活を送っていきますが、遠く離れていても園との絆を感じて頑張ってください。 小島職員



七夕

調理実習

初詣

七五三

初雪

## 令和元年度 当施設をご支援いただいた方々です

(敬称略・順不同)

Doing 様来訪

伊東みゆき、横田基地 374 通信中隊、加藤純、(株)酒井組、(株)東新商会、吉崎商店、久米洋子、高野晴夫、国際ソロプチミスト青梅、床屋 立川、森下和仁、杉山貴規、清田美智子、青梅あけぼの幼稚園、青柳義雄、沢井駐在所 宮本、田草川恒秋、二俣尾駐在所、馬場医院 馬場、柏洋子、福島義則、野村有信、高野俊慈

〔寄附金〕

〔寄附物品〕

Doing、NPO 法人フラワーキャンドル、あおうめ会【久保田商店、御菓子司 あら井、(有)ハーゼル、和菓子処 は万の】、コストコホールセールジャパン(株)、ジェイ・ワークス(株)、ほっともっと、米谷友美、日本鏡餅組合、大沼淳、伊東みゆき、かき氷工房 雪菓、ムーンバット(株)、一財)日本児童養護施設財団、一社)東京馬主協会、一社)絆の会、横田基地 374 通信中隊、東興工業(株)、横田基地法務部、(株)NIPPO、(株)チュチュアンナ 1%クラブ、全国シャンメリー協同組合、東京都遊技業協同組合、第一生命労働組合、(株)メリーチョコレートカンパニー、(株)大洋観光サービス、柴田幸作、宮本十四夫、東京司法書士会、公財)毎日新聞東京社会事業団、術サロン、富士山天然水・蔵元「不二」、匿名 1

〔その他助成など〕

一財)日本児童養護施設財団、福)東京都社会福祉協議会、公財)ビックカメラ奨学金財団、公財)資生堂社会福祉事業財団、東京善意銀行【ニチレイふれあい基金】、公財)あいである、公益信託加藤三樹雄記念MK奨学基金、認定 NPO 法人ブリッジフォースマイル【一財)プロロジス財団】、児童福祉友愛互助会(杉浦・西脇)基金

〔招待〕

NPO 法人みらいの森、横田基地 374 通信中隊、匿名 1

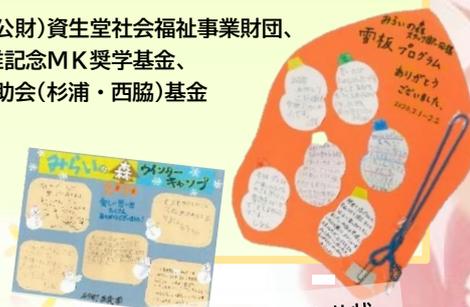


絆の会様から  
ままごとセット



ソロプチミスト様来訪

ありがとうございました



みらいの森様へのお礼状

## 新任職員紹介

4月に入職しました石井祐樹と申します。私は昨年度、約1ヶ月間、砂町友愛園での実習を経験し、子どもたちがのびのびと過ごせるこの環境で働きたいと強く感じました。まだ未熟ではありますが、子どもたちと一緒に成長していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

石井祐樹

この度4月に入職いたしました佐藤優亮と申します。私は青梅市出身で、慣れ親しんだこの土地で子どもたちの未来に繋がる支援を行い、共に成長していきたいと思っています。まだまだ未熟者ですがよろしくお願いいたします。

佐藤優亮

4月より入職いたしました、木住野貴仁と申します。私はこの砂町友愛園では自然豊かな土地や地域の中で子どもたちはもちろん他の職員の先輩方と一緒に成長していきたいと思っています。まだまだ若輩者ではありますが、学びを深めたいと思っています。これからよろしくお願いいたします。

木住野貴仁

## 令和2年度 地域交流行事『杉の子祭』中止のお知らせ

毎年開催させていただいていた杉の子祭ですが、今年度は新型コロナウイルスの影響を考慮中止とさせていただきます。子ども、職員一同楽しみにしていた所での決定となり、誠に残念ですがご理解をお願いいたします。緊急事態宣言が出ていますが、当施設の子どもたちは現在、新型コロナウイルスの感染もなく、不要不急の外出を控えて手洗いうがい等、感染対策に努めていますのでご安心いただければと思います。また大変申し訳ございませんが、新型コロナウイルスが落ち着くまでは面会等も自粛させていただいていますので、ご協力をお願いいたします。

## 募集しています

○保育士・指導員職員

可愛らしい子どもの成長を肌で感じる事ができる仕事です。資格要件は保育士または児童指導員任用資格(詳しくは当法人ホームページをご覧ください)を取得している方です。子どもと関わる仕事に興味がある方のご連絡お待ちしております。

○フレンドホーム

家庭で生活する事ができない子どもを、夏・冬休み、土・日曜日、祝日等、学校がお休みの期間に、ご都合の良い日数お預かりいただける方を募集しています。おおむね3歳から12歳の入所児が対象です。

○ボランティア

子どもに勉強を教えてください、一緒に遊んでくださる方、行事のお手伝いをしてくださる方を募集しています。

○物品寄附 「こいのぼり」と「卓球台」を探しています!